

『 錦 秋 便 り 』

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠



新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言が解除されましたが、学校現場では今後も少しも気を抜くことのできない状況にあるのかと推察致します。

さて、当センターは後志管内20市町村が管内の教職員、社会教育担当者等の資質・能力の向上を目指した研修講座事業等を協働で実施することを目的として設置されたものであります。一部事務組合として組織されていて、組合長は倶知安町長となっており、各市町村の負担金をもって運営されています。昭和50年に発足し、令和3年度で設立46年目を迎えます。

本年度の研修講座は、全面実施されている学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」の下、改訂の大きなテーマである「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、現場との連携を一層密にした研修講座となるよう策定しております。年度当初の申込受講者は例年より100名ほど多く、600名近くになっております。管内の先生方の研修に対する真摯な姿勢に、心より敬意を表したいと思います。

研修講座開講に向けては感染対策を考慮し、① 学校での授業実践は行わない ② 全ての講座を午後からの半日日程とするということで進めています。緊急事態宣言の影響により、センターの講座は8月末から9月いっぱいまではオンライン形式で10講座行い、10月から再び集合研修という形式で実施しております。



〈学校事務研修講座 R3.7.21〉

本年度の研修講座の特徴として、研修講座受講後のアンケート記述から読み取ると、厳しい状況下においても、受講する姿勢が非常に前向きであるということがあげられます。これは、各先生方が自分で希望して当センターに受講していることが大きな要因かと考えています。更には、講座担当の講師陣が大変意欲的で、自分の実践を受講者に伝えるように講義・演習等をしていることがあげられます。

これまでセンターに幾つかの意見や要望等がきています。オンライン講座の実施に関しては、当センターの現状では、40分無料のZoomを使用するのが、予算的に一番合っているのかと判断しています。また、センターからの連絡がメールやFAXが混在していますが、現段階では一番の確実な方法でありますのでご理解ください。

後志においては後志教育研究会が現在、活動を休止している状況では先生方が学ぶ機会は当センターに課せられております。その点を十分に考慮しながら、今後とも、センター運営に努めて参りたいと考えています。関係各位のご理解とご支援をよろしくお願い致します。



〈ICT活用・中級 研修講座 R3.9.2〉

最後に、当センターの中村事務部長が一身上の都合で、9月末をもって退任されました。後任として、3月末まで事務部長を担当していた村井ひろみさんが再度、務めることになりました。どうぞ、よろしくお願い致します。

(R3.10月)